

片葉の芦

原作 宮部みゆき



2010年12月12日(日)14時開演

(開場:13時30分 / 終演:15時過ぎ)

枚方サンプラザ5階 生涯学習市民センター 視聴覚室

2011年 第9回定期公演のお知らせ

2011年7月30日(土)・31日(日)
一心寺シアター倶楽 演目未定

ぜひ新しい朗読GENをご覧ください。
詳細はホームページでもお知らせします。
<http://book.geocities.jp/roudokugekidangen/>

お問合せ 秋山 0742 48 - 8688

genkikan@m4.kcn.ne.jp

朗読 GEN 

ご挨拶

今年も、中宮サロンの公演にお越し頂きまして本当にありがとうございます。

初めて、音響・照明の専門のスタッフに入って頂き、中宮サロンの舞台も少しずつ充実してきました。

これも毎年足を運んで下さるお客様のお陰と心より感謝申し上げます。

朗読劇は、セリフで成り立つ演劇と違い、小説をほぼそのまま取り上げますので語りからセリフ、そして語りへと移っていくところが不自然にならぬように心がけております。また語り、人物役ときっちり分けず、兼ねるところを作っています。朗読劇には演劇と違った難しさがありますが、いろんな作り方ができる面白さがあります。小説の中の人物が舞台上で、生き生きと話し始めたら楽しいだろうなと思ってもいつも取り組んでいます。

昨今のユースに心痛むこの頃ですが、胸の奥がほっと温まる宮部みゆきの時代小説の世界をひとときお楽しみ下さい。

これからも朗読GENの朗読劇を追求し、お客様に小説のすばらしさを伝えていきたいと存じます。未熟な私たちがこれまで続けてこられたのも、お客様の支えのおかげです。これからも一生懸命をモットーに努力してまいります。今後ともご支援下さいますようお願い申し上げます。

来年が皆様にとりまして良き年でありませうようにお祈り申し上げます。

キャスト

彦次 …………… 福嶋左知子
お美津 …………… 清水光恵
近江屋藤兵衛 番頭 …… 太田淑子
お園 …………… 秋山太加
回向院の茂七 …………… 山岡くみ子
源助 …………… 田中章恵

スタッフ

台本構成 演出 …… 秋山太加
音響 …… 西角 秀紀
照明 …… 藤澤 晃平
照明助手 …… 杉本昂直
音楽選曲 …… 秋山太加
協力 …… 坂本美和子 (中宮サロン)
山形美奈子 (中宮サロン)
中川悦子 (中宮サロン)
田中仁美・田中正隆
稽古場協力 …… (有)アップアクトリー

あらすじ

近江屋藤兵衛が死んだ。釜の湯が沸き立つそば屋で客たちがつわさ話に夢中である。やったのは娘のお美津、回向院の茂七はどやうやらそういらんでいるらしいぜ「客たちの舌が店の職人、彦次の耳に飛び込んでくる。思わず違つと胸の内を叫ぶ彦次、心配そうに見守る親方の源助はその夜、居酒屋に誘い10年前の出来事を聞くが…

作者紹介

宮部みゆき(1960年、東京生まれ)

87年『我が隣人の犯罪』でオール読物推理小説新人賞を受賞。89年『魔術はささやく』で日本推理サスペンス大賞を受賞。92年『龍は眠る』で日本推理作家協会賞、『本所深川ふしぎ草紙』で吉川英治文学新人賞を受賞。93年『火車』で山本周五郎賞を受賞。97年『蒲生邸事件』で日本SF大賞を受賞。99年には理由で直木賞を受賞した。

近著に『模倣犯』がある。本格ミステリーから時代小説まで幅広いジャンルをもにする当代の人気作家である。

今回取り上げた『本所深川ふしぎ草紙』は『茂七の事件簿』としてNHKでテレビ化された。

【ロケ地】

朱引き ……江戸の地名で呼ばれる地域は江戸御府内ともいったが、その範囲は時期により、幕府部局により異なっていた。御府内は町奉行の支配範囲である。次第に拡大していく範囲をはっきりさせるため、文政元年(1818)に絵図面に朱線を引き、御府内の範囲を確定した。これを朱引内(しゅびきうち)と称する。その範囲はおおむね東は中川、北は荒川、石神井(しゃくじい)川下流、西は神田上水、東は目黒川の内、町奉行支配地域よりやや広かった。

岡引き(おかびき) ……江戸時代、与力、同心の私的な使用人として犯人探索を助けた者。旧称は目明しで御用聞きともいふ。房のない十手を預かるが、奉行所とは関係がない。管轄の町屋からの付け届けで実収入のあった同心から手札(小遣い)をもらい、その同心の屋敷ではいつでも食事をとることが出来るようになっていた。江戸町奉行所で500人位いたといふ。中には不正を働く者もいて幕府は1712年以来たびたび禁止令を出したが、実際には町人の中に入って探索するのに便利なため、幕末まで広範に残った。

